

公益社団法人日本技術士会北海道本部
社会活動委員会 リージョナルステート研究委員会
平成30年度 第3回研修会

【CPD 対象】

リージョナルステート研究委員会の第3回研修会を開催致します。

9月6日の午前3時7分、胆振東部地震が発生し、ブラックアウトにより北海道に住む私たちは未曾有の大規模停電を経験することとなりました。FIT や東日本大震災後の再生可能エネルギーへの注目度の高まりにより太陽光発電等が普及していたので、緊急用電源として活用できるものと考えておりましたが、送電線に接続しているメガソーラー発電は使用できず、蓄電設備を持たない家庭用太陽光発電は夜間使えずという状態でした。そして、「あの地震が厳冬期の同じ時間帯に起きていたら」、暖房が使えないことで2次災害が拡大し、積雪が救急救命活動に支障をきたし死者が生じ、物流の停滞は、緊急物資の輸送や復旧活動にも大きな影響を与えたであろうと思います。そして、これらが相まって避難生活の長期化が強いられるものと予想されます。

当研究委員会は、積雪寒冷地の北海道で自然エネルギーを主体とした生活へ転換するには、冬期の暖房の熱源を如何に確保するかが生命に係る重要課題として認識しておりました。自然エネルギー由来の暖房が確保できれば、冬期災害の強力な味方となるはずです。その解決策の一つに、地中熱エネルギーがあります。

今回は、札幌市内に地中熱エネルギーによる冷暖房を中心に、太陽光発電などを併用したZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）を所有する株式会社アリガプランニング様より伊藤治彦様と鈴木健三様を講師としてお迎えし、大規模停電時の自社ビル（ZEB100%達成ビル）の状況についてご説明して頂いた後、ZEBについて、地中熱エネルギー利用の現状、将来の可能性、独立分散電源の有効性等についてご講演頂きます。

また、研修会終了後は、講師の伊藤様と鈴木様を交えて意見交換会を予定しております。併せて奮ってのご参加、お願い致します。

記

1. 日 時：平成31年2月1日（金）18：00～20：00 ※開場：17:50 研修会終了後に意見交換会
2. 場 所：札幌エルプラザ2階 環境研修室1・2（住所：札幌市北区北8条西3丁目）
3. 演 題：ブラックアウトを経験して、災害時に威力を発揮した独立分散電源
～地中熱利用とZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の可能性について～
4. 講 師：株式会社アリガプランニング
札幌本店営業副本部長 伊藤治彦 様 企画設計室室長 鈴木健三 様
5. 参加料：第3回研修会 日本技術士会会員：500円/人、会友・その他：1,000円/人
一般の方：無料
意見交換会 3,500円/人
6. 定 員：50人
7. 参加申込：リージョナルステート研究委員会 幹事 椎谷 悟（c-ya@nifty.com）
※ 申込みは、E-mail でお願ひ致します。
8. 申込期日：平成31年1月28日(月)まで
9. 申込内容：申込みに際しては、以下の項目をご連絡下さい。
氏名：
住所：
所属：
連絡先：(TEL. FAX. Eメールアドレス等)
会員区分：会員・会友・一般
参加区分：第3回研修会・意見交換会
※会員区分、参加区分については該当するもののみを記載してお申込み下さい。